



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月11日

上場会社名 福山通運株式会社

上場取引所 東

コード番号 9075 URL <http://www.fukutsu.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役 社長執行役員 （氏名）熊野 弘幸

問合せ先責任者 （役職名）執行役員 経理・財務統括部長 （氏名）佐藤 義宏 TEL 084-924-2000

半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 2025年12月2日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	153,573	4.6	3,612	△19.5	4,463	△26.7	3,042	△44.3
2025年3月期中間期	146,804	3.9	4,485	△28.1	6,090	△15.1	5,460	24.5

（注）包括利益 2026年3月期中間期 4,543百万円（－％） 2025年3月期中間期 △5,057百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	80.87	—
2025年3月期中間期	135.01	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	506,750	281,662	55.2	7,603.05
2025年3月期	500,674	287,773	57.1	7,207.30

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 279,759百万円 2025年3月期 285,948百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2026年3月期	—	38.00			
2026年3月期（予想）			—	38.00	76.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	316,300	4.6	8,100	10.0	9,700	△2.2	13,000	48.6
								352.59

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 有

新規 1社 (社名) Renown Transport Co.,Ltd.、除外 1社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	40,770,363株	2025年3月期	40,770,363株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	3,974,616株	2025年3月期	1,095,519株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	37,617,426株	2025年3月期中間期	40,443,003株

※期末自己株式数には、「株式付与E S O P信託口」が保有する当社株式 (2025年3月期中間期136,779株、2026年3月期中間期130,069株) が含まれております。また、「株式付与E S O P信託口」が保有する当社株式を、期中平均株式数 (中間期) の計算において控除する自己株式に含めております (2025年3月期中間期139,101株、2026年3月期中間期131,849株)。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は2025年11月19日 (水) に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結損益及び包括利益計算書に関する注記)	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、設備投資や輸出の持ち直し、雇用や所得環境の改善の動きが見られるものの、物価上昇の影響などにより、回復の勢いは限定的となりました。世界経済においても、中国の不動産市場の停滞や米国の金融政策動向などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

貨物自動車運送業界におきましては、量的成長が見込みにくいなか、継続するコスト上昇に対応した価格改定を進めているものの、人手不足、ドライバーの働き方改革、原油価格の高止まりに加え海外景気動向も収益に大きく影響を与える経営環境下にあります。

このような状況のもと当社グループにおきましては、賃金水準の向上を図るとともに、積載効率、作業負担及び車両稼働率に大きく影響する長距離貨物や重厚長大貨物を中心とした価格改定による収益性の改善に取り組んでまいりました。さらに同業他社との協業を積極的に進め、長距離輸送の往路・復路の物量差が大きいエリアにおける中継輸送や物量の少ないエリアにおける共同配送など地域特性を相互に補完し合う輸送体制の構築に取り組み、生産性の向上、労働環境改善、ドライバー不足の解消に努めてまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は1,535億73百万円(前年同期比4.6%増)、営業利益は36億12百万円(前年同期比19.5%減)、経常利益は44億63百万円(前年同期比26.7%減)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は30億42百万円(前年同期比44.3%減)となりました。

これらをセグメント別に見た事業の概況は次の通りです。

運送事業におきましては、国内391ヶ所の自社拠点を活用した強固な輸送ネットワークのもと、様々な重量帯・形状の貨物の輸送サービスを提供できる強みを活かし、物量の確保と運賃契約の見直しを推進してまいりましたが、減価償却費など上昇するコストを吸収するには至らず減益となりました。

以上の結果、売上高は1,193億35百万円(前年同期比4.6%増)、営業利益は23億円(前年同期比24.6%減)となりました。

貸切事業におきましては、取扱件数の拡大と環境負荷低減の両立が可能である専用ブロックトレインやダブル連結トラック等の自社リソースを活用したサービス展開による営業強化を図ってまいりました。また、パートナー企業の拡充を図るため、利便性の高いパートナー企業向けシステムや安心を担保するための保険サービスの開発を行ってまいりました。

以上の結果、売上高は129億28百万円(前年同期比5.3%増)、営業利益は11億60百万円(前年同期比7.9%増)となりました。

流通加工事業におきましては、拡充している倉庫機能を活用した複合一貫輸送サービスを中心とした積極的な新規営業展開により売上拡大を図ってまいりました。また人件費・建築費・光熱費等のコストに適応した単価改定に取り組み、利益確保に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は116億60百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益は19億53百万円(前年同期比17.4%増)となりました。

国際事業におきましては、国内ドレージの値上がりや海上運賃の顧客への転嫁が十分ではなく粗利率については低下しましたが、海外でのトラック輸送の事業拡大や通関取扱件数の増加により増益となりました。また、2025年8月にはタイ王国のフォワーディングを主力事業とする会社を買収し、国際ネットワークの強化を図りました。

以上の結果、売上高は60億74百万円(前年同期比4.9%増)、営業利益は1億69百万円(前年同期比5.0%増)となりました。

その他事業におきましては、第2四半期以降、売上高構成比が高い物品販売事業が振るわず減益となりました。

以上の結果、売上高は35億74百万円(前年同期比0.5%減)、営業利益は5億54百万円(前年同期比4.5%減)となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて60億75百万円増加し5,067億50百万円となりました。これは主に、無形固定資産が25億45百万円増加したことや投資有価証券の時価評価により投資その他の資産が20億20百万円増加したことによります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて121億85百万円増加し2,250億87百万円となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が減少したことにより流動負債が118億97百万円減少しましたが、長期借入金が232億93百万円増加したことにより固定負債が240億83百万円増加したことによります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて61億10百万円減少し2,816億62百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が17億1百万円増加したことや利益剰余金が16億48百万円増加した一方、自己株式の取得93億80百万円実施したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ11億55百万円増加し307億82百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

主に税金等調整前中間純利益53億57百万円、減価償却費99億77百万円の計上などにより114億19百万円の資金収入（前年同期は113億39百万円の資金収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

主に有形固定資産の取得による支出106億20百万円などにより118億22百万円の資金支出（前年同期は142億61百万円の資金支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

主に借入による純増額127億15百万円、配当金の支払額及び自己株式の取得による支出107億74百万円などにより16億75百万円の資金収入（前年同期は26億98百万円の資金収入）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、2025年5月13日の「2025年3月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,919	31,250
受取手形及び売掛金	39,518	39,426
その他	4,710	5,173
貸倒引当金	△102	△111
流動資産合計	74,045	75,738
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	286,656	286,450
減価償却累計額	△185,138	△187,650
建物及び構築物(純額)	101,518	98,799
機械装置及び運搬具	135,980	140,690
減価償却累計額	△108,777	△112,539
機械装置及び運搬具(純額)	27,202	28,151
工具、器具及び備品	17,904	17,905
減価償却累計額	△13,965	△14,292
工具、器具及び備品(純額)	3,939	3,613
土地	219,427	219,466
建設仮勘定	5,799	7,672
有形固定資産合計	357,886	357,703
無形固定資産		
その他	5,287	7,832
無形固定資産合計	5,287	7,832
投資その他の資産		
投資有価証券	58,005	59,896
繰延税金資産	2,320	2,284
その他	3,383	3,430
貸倒引当金	△254	△136
投資その他の資産合計	63,454	65,475
固定資産合計	426,629	431,011
資産合計	500,674	506,750

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,977	15,144
短期借入金	5,200	15,200
1年内返済予定の長期借入金	43,021	22,420
リース債務	312	251
未払法人税等	3,489	2,156
未払消費税等	1,513	3,229
賞与引当金	5,212	4,628
その他	15,050	14,849
流動負債合計	89,778	77,880
固定負債		
長期借入金	61,675	84,968
リース債務	223	132
繰延税金負債	15,607	16,700
再評価に係る繰延税金負債	24,278	24,278
退職給付に係る負債	19,851	19,694
資産除去債務	498	500
その他	987	931
固定負債合計	123,123	147,206
負債合計	212,901	225,087
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,310	30,310
資本剰余金	39,513	39,513
利益剰余金	157,832	159,481
自己株式	△4,059	△13,429
株主資本合計	223,597	215,876
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,031	28,732
土地再評価差額金	33,448	33,448
為替換算調整勘定	72	△30
退職給付に係る調整累計額	1,798	1,732
その他の包括利益累計額合計	62,351	63,883
非支配株主持分	1,824	1,903
純資産合計	287,773	281,662
負債純資産合計	500,674	506,750

(2) 中間連結損益及び包括利益計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	146,804	153,573
売上原価	137,826	145,307
売上総利益	8,977	8,266
販売費及び一般管理費	4,491	4,654
営業利益	4,485	3,612
営業外収益		
受取配当金	996	912
補助金収入	309	3
その他	557	609
営業外収益合計	1,863	1,524
営業外費用		
支払利息	184	460
災害復旧費用	33	106
和解金	0	10
その他	41	96
営業外費用合計	259	673
経常利益	6,090	4,463
特別利益		
固定資産売却益	130	64
投資有価証券売却益	2,373	1,324
特別利益合計	2,503	1,389
特別損失		
固定資産売却損	32	23
固定資産除却損	123	257
投資有価証券売却損	1	—
減損損失	—	215
特別損失合計	157	495
税金等調整前中間純利益	8,435	5,357
法人税、住民税及び事業税	2,658	1,828
法人税等調整額	331	460
法人税等合計	2,989	2,289
中間純利益	5,445	3,067
(内訳)		
親会社株主に帰属する中間純利益	5,460	3,042
非支配株主に帰属する中間純利益	△14	25
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,543	1,658
為替換算調整勘定	90	△117
退職給付に係る調整額	△50	△65
その他の包括利益合計	△10,503	1,475
中間包括利益	△5,057	4,543
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△5,095	4,574
非支配株主に係る中間包括利益	37	△30

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	8,435	5,357
減価償却費	8,263	9,977
減損損失	—	215
引当金の増減額(△は減少)	△630	△696
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△268	△295
未払費用の増減額(△は減少)	△1,036	△18
未払消費税等の増減額(△は減少)	△473	1,646
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,371	△1,324
その他	265	△888
小計	12,184	13,973
利息の支払額	△180	△445
利息及び配当金の受取額	1,006	957
法人税等の支払額	△1,670	△3,065
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,339	11,419
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,400	△10,620
有形固定資産の売却による収入	129	188
投資有価証券の取得による支出	△11	△560
投資有価証券の売却による収入	3,860	2,353
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△2,159
定期預金の預入による支出	△75	△38
定期預金の払戻による収入	493	115
その他	△1,257	△1,100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,261	△11,822
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	58,950	39,650
借入金の返済による支出	△53,681	△26,934
配当金の支払額	△1,624	△1,393
自己株式の取得による支出	△723	△9,380
その他	△220	△266
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,698	1,675
現金及び現金同等物に係る換算差額	90	△117
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△132	1,155
現金及び現金同等物の期首残高	29,053	29,626
現金及び現金同等物の中間期末残高	28,920	30,782

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結損益及び包括利益計算書に関する注記)

※販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
(1) 人件費	2,195百万円	2,263百万円
うち退職給付費用	62	70
うち賞与引当金繰入額	156	156
(2) 減価償却費	265	292
(3) 租税公課	737	616

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
現金及び預金勘定	29,357百万円	31,250百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△436	△467
現金及び現金同等物	28,920	30,782

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	運送事業	貸切事業	流通加工 事業	国際事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	114,082	12,277	11,058	5,793	143,211	3,592	146,804
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	3,956	3,956
計	114,082	12,277	11,058	5,793	143,211	7,549	150,760
セグメント利益	3,048	1,075	1,663	161	5,948	580	6,529

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸業、物品販売事業及び労働者派遣業(委託業務)等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,948
「その他」の区分の利益	580
全社費用(注)	△2,043
中間連結損益及び包括利益計算書の営業利益	4,485

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない広告宣伝費及び各連結会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	運送事業	貸切事業	流通加工 事業	国際事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	119,335	12,928	11,660	6,074	149,999	3,574	153,573
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	4,037	4,037
計	119,335	12,928	11,660	6,074	149,999	7,611	157,610
セグメント利益	2,300	1,160	1,953	169	5,582	554	6,136

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸業、物品販売事業及び労働者派遣業(委託業務)等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,582
「その他」の区分の利益	554
全社費用(注)	△2,524
中間連結損益及び包括利益計算書の営業利益	3,612

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない広告宣伝費及び各連結会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(のれんの金額の重要な変動)

「国際事業」において、当中間連結会計期間にRenown Transport Co., Ltd.の株式を取得したことにより、のれんが26億90百万円増加しております。なお、のれんは、当中間連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。